

安中市議会議員

小林かつゆき 議員活動報告

新庁舎が良いものになるよう、しっかり注視し皆様に報告していきます。



だいぶ行動規制が緩和されてきました！

活動期間

令和3年

9月▶12月

ごあいさつ

皆様におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

現在、日本では新型コロナウイルス感染症がだいぶ収まりみせており、群馬県においても警戒度が下がり、行動制限の緩和が続いている状況です。年末年始の集まりや観光などを楽しんでいる方も多くいると思います。完全な終息とまではいきませんが、もう少しで当たり前の日常が戻ってくることを期待せずにはられません。

しかし、世界に目を向けてみると、ヨーロッパでは、1日の新規感染者が最大規模で拡大しているという報道もあります。さらに、オミクロンという変異株が新たに出現し、しばらくは警戒の日々が続きそうです。

コロナウイルスの感染力は私たちの想像をはるかに超えており、今収まっても、1か月後に感染爆発しているかもしれません。行動しながらも感染対策は怠らないよう日々を過ごしましょう。

市政では、安中市役所新庁舎がようやく動き出します。決断が遅いせいもあり、スケジュールに余裕がありませんが、市民が納得する庁舎建設に向け、議員としてしっかり提言していきたいと思っております。裏面には移転までのスケジュールを載せたのでご覧ください。

12月の 定例議会

一般質問

12月議会の一般質問の概要をお伝えします。

安中市役所・防災拠点センター について

●建設場所について

問 多くの意見が出された中で、新庁舎建設の場所を「旧安中高校跡地」に決定した理由は。

答 市民懇談会の提言や、市議会からの要望書、市民アンケート調査結果などから、市民の防災意識の高さが伺えました。このことから、防災スペースを確保するために、より適切な土地の形状と敷地面積の大きさを持つ「旧安中高校跡地」を建設場所と決定しました。

●スケジュールについて

問 移転完了を令和8年5月に設定している理由は。

答 耐震性の低い旧庁舎・中庁舎建て替えを早期に行いたいこと、合併特例事業債の発行が令和8年3月末までに庁舎が完成していることが条件になっているおり、それに間に合わせる事が理由です。

問 文化財発掘調査期間を6か月間としているが、妥当なのか。文化財が出る可能性は。

答 6か月という期間は、仮に文化財が発見された場合に必要になる期間を想定しているので妥当な期間です。旧安高跡地は文化財埋蔵地内となっているので、文化財が発見される可能性はあると思います。

●財源について

問 庁舎建設に使える基金の内訳は。

答 庁舎建設積立基金が、令和2年度末で約5億円、今年度は2億円積み立てる予定です。地域振興基金は約16億円です。

問 合併特例債の残高は。

答 約36億円です。

問 合併特例債の期限延長の可能性は。

答 特例債は、東日本大震災に伴い、一度延長されましたが、その際、衆参両院において、更なる延長を行うことがないよう附帯決議がされており、延長は難しいです。

問 緊急防災・減災事業債とは。

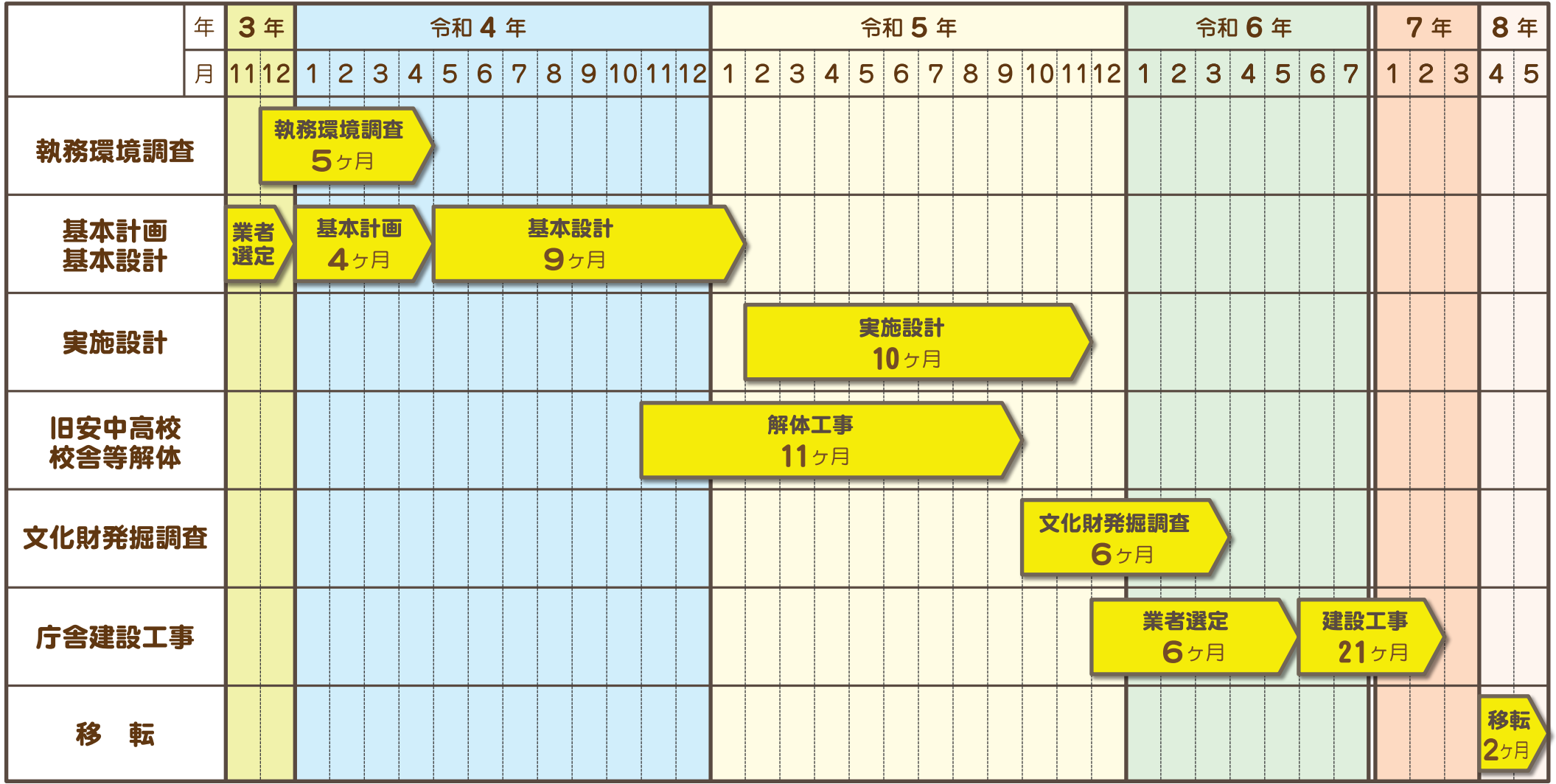
答 即効性のある防災、減災のため部分（災害事務室や集積所など）に充当でき、充当率は100%、交付税措置率は70%で、令和7年度まで発行可能でございます。

市営墓地について

問 進捗状況は。

答 小式場に納骨堂の設置、第3駐車場に従来型一般墓地の造成整備及び合葬式墓地の建立、また、附帯施設として、公衆トイレと四阿（あずまや）の建築を計画しています。今年度は、現地調査や測量、基本設計業務に取り組んでいます。

安中市役所・防災拠点センター 移転完了までのスケジュール



新庁舎建設費用 50億と仮定した場合

合併特例債	25億	合計 45億円 7割が国の補助 3割が市の負担 将来的負担
防災減災事業債	5億	
地域振興基金	15億	合計 5億円 全て市の負担
庁舎建設積立金	4億	
一般財源 他	1億	市の実質負担は 18.5億円 となります。

※数字は概算であり、また個人の見解によるものなので、実際の内訳とは異なると思います

私たちは、小林かつゆきの活動を応援しています！

小林かつゆき 後援会事務所

〒379-0127 安中市磯部 1-11-41 (碓林堂印刷内)
 TEL.027-385-8820 FAX.027-385-3527
 E-mail tairin@peach.ocn.ne.jp

＼随時更新中！／

 facebookでは日々の活動をご紹介します。是非ご覧下さい。

小林克行 安中 検索

経歴

- 1975 (昭和50年) 安中市磯部に生まれる
- 1988 (昭和63年) 磯部小学校卒業
- 1991 (平成3年) 安中市立第二中学校卒業
- 1994 (平成6年) 前橋育英高校卒業
- 1999 (平成11年) 大東文化大学法学部卒業
- 東京近郊にて不動産会社に就職
- 2004 (平成16年) 安中市に帰郷し家業に従事する
- 2005 (平成17年) (社)安中青年会議所 入会
- 2012 (平成24年) (社)安中青年会議所 [第40代・理事長]
- 2020 (令和2年) 令和2年度高別当育会 [会長]

現在

- (公社)安中青年会議所シニアクラブ [会員]
- 安中碓水ユネスコ協会 [副会長]
- 鉄道遺産群を愛する会 [事務局長]
- 磯部温泉組合 [理事]
- 安中市消防団 [第3分団第1部・団員]
- NPO法人碓水峠浪遊倶楽部 [理事]
- 安中市社会福祉協議会磯部支部 [理事]
- 安中市スポーツ協会磯部支部 [顧問]
- 高別当信和会 [会員]
- 家族 妻・長男・長女の4人家族。